

令和2年度 (2020年度)

佐賀大学大学院

理工学研究科修士課程

機械エネルギー工学コース・機械システム工学コース

オリエンテーション

1/16

全般的な注意

- (1) 本資料では、修士課程の修了要件に関する事項を記載 (全16 ページ)
- (2) 下記、申請書は次の方法で提出して下さい。
 - (a) 大学院先行履修科目の単位認定
 - (b) 他コースの履修願

提出方法(①または②)

① 理工学部 1号館 南棟 2階

リフレッシュスペース SE-1C-212 長谷川レポートBOXに投函

② ・必要事項の記入ならびに**申請者(学生)の捺印(教員の捺印は必要なし)**

・申請書をスキャン(電子ファイル化)

・電子ファイル名⇒学籍番号+氏名+申請書名

(例) 20706001 機械〇〇 単位認定

20706001 機械〇〇 他コース

・長谷川宛にメール提出(メールアドレスは、機械HPを参照)

2/16

大学院履修案内について

- 平成29年度より「履修案内」が全て電子化されました
(冊子版の配布はありません)
- 佐賀大学ホームページ⇒在学生の方へ⇒履修の手引き
(<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/risyuu-tebiki.html>)から、
もしくは、下記のURLから直接、大学院・理工学研究科の
2020年度版(R2年度入学)を各自ダウンロードしてください
<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/tebiki-h31-riinn%20rikougaku.pdf>

3/16

履修案内の関連ページ

- 研究指導, 修了要件, 履修方法について
 - pp. 1~3
- 機械エネルギー工学コース, 機械システム工学コースの詳細
 - pp. 31~38
- 大学院学則及び関係諸規則
 - pp. 80~101
- 各種手続きについて
 - p. 107

4/16

理工学研究科修士課程の教育理念, 研究指導方法

[履修案内 pp.1~2]

● 教育理念

- 修士課程では**研究・開発**を遂行できる能力の養成を目的とした教育を行う。

● 研究指導の方法

- 学生ごとに1名の指導教員及び1名の副指導教員を選任する。
- 学生は, **1年次**からこの研究指導を受ける。
- 学生は, 毎学期, ラーニングポートフォリオシステムにおいて, 研究指導実施報告書による指導教員からの研究指導を受けた上, 自身の研究活動について振り返りを行う必要がある。

5/16

機械エネルギー工学コース, 機械システム工学コースの教育目的

[履修案内 pp.31~38]

● 機械エネルギー工学コース

エネルギー分野の教育研究機能のさらなる強化を図り, 種々のエネルギー変換やエネルギー利用の専門知識を教育し, また, 海洋エネルギー研究センターと連携して風力発電, 潮力発電, 波力発電, 温度差発電などの再生可能エネルギー分野の教育を充実させ, エネルギー分野におけるリーダー的技術者として活躍できる人材を養成する。

● 機械システム工学コース

高度なものづくりに関する機械工学分野の実践的な知識を身に付けた技術者人材の養成を行う。

6/16

修了要件と学位

- (佐賀大学大学院学則第18条): [履修案内 p. 1]

第18条 修士課程の修了要件

- 当該課程に2年以上在学し、**60単位以上**を修得する
- 必要な研究指導を受けた上、当該**修士課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。**
ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたものについては、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 学位の種類: **修士(工学)**, 修士(理学)

7/16

授業科目と履修方法

理工学研究科履修細則第2条第4項 [履修案内 p. 55]
(履修案内 p.1 にも簡単に記載)

各コースの学生は、それぞれ別表 I - 1から別表 I - 11までに掲げる**大学院教養教育プログラム**から**4単位以上**、**自然科学系研究科共通科目**から**8単位以上**、**専門科目**から**48単位以上**、**計60単位以上**を修得しなければならない。

- 別表1-6 **機械エネルギー工学コース**の授業科目 [履修案内 pp. 67, 68]
- 別表1-7 **機械システム工学コース**の授業科目 [履修案内 pp. 69, 70]
 - 大学院教養教育プログラム: **4単位以上** (選択必修)
 - 自然科学系研究科共通科目: **8単位以上** (選択必修)
 - 専門科目: **48単位以上** (選択必修)

8/16

大学院教養教育プログラムについて

- 理工学研究科修士課程の学生
 - 教養教育プログラム**4単位以上**(選択必修)
 - 各科目は**8コマ授業**, **1単位**
 - 「**研究・職業倫理特論**」, 「**情報セキュリティ特論**」, 「**データサイエンス特論**」を含めて, **4単位以上**選択必修
 - 前学期の開講科目
 - 必修: **研究・職業倫理特論**, **情報セキュリティ特論**
 - 選択: **学術英語特論**, **キャリアデザイン特論**, **日本語・日本文化理解**
 - 参照⇒**オリエンテーション資料**
⇒**大学院教養教育プログラムの履修登録について**

9/16

自然科学系研究科共通科目について

- 理工学研究科修士課程の学生
 - 自然科学系研究科共通科目**8単位以上**(選択必修)
 - 開講科目
 - 別表1-6 **機械エネルギー工学コース**の授業科目 [履修案内 pp. 67, 68]
 - 別表1-7 **機械システム工学コース**の授業科目 [履修案内 pp. 69, 70]
 - 「**創成科学融合特論**」, 「**創成科学PBL特論**」, 「**知的財産特論**」を含めて**8単位以上**選択必修
- [履修案内 p. 8] **開講科目一覧中**⇒(注1)付記の科目
注1: **機械エネルギー工学コース**及び**機械システム工学コース**の学生は「**機械工学概論**」以外の科目を修得しなければならない。

※別表1-6, 1-7には, 「**機械工学概論**」は無い。

10/16

専門科目について

理工学研究科修士課程の学生：専門科目**48単位以上**を修得（選択必修）

- 機械エネルギー工学コース
[履修案内 pp. 67, 68]「別表1-6 機械エネルギー工学コースの授業科目」
機械エネルギー工学特別研究 I (5単位), II (5単位), III(10単位),IV(10単位) を含めて, 48単位以上 (履修案内 pp. 34, 36も参照のこと)
- 機械システム工学コース
[履修案内 pp. 69, 70]「別表1-7 機械システム工学コースの授業科目」
機械システム工学特別研究 I (5単位), II (5単位), III(10単位),IV(10単位) を含めて, 48単位以上
- 各コースの開講科目一覧(履修案内 pp. 34, 38)ならびに履修モデル(履修案内pp. 32, 36)も参照のこと.

11/16

他コース, 他研究科の科目履修について

履修細則第3条 [履修案内 p. 55]

研究科規則第6条の規定により修得した授業科目の単位のうち, 前条第4項における修了の要件に含めることができる単位数は, 別表 I に定める.

- 機械エネルギー工学コース (別表1-6, 履修案内 pp. 67, 68)
- 機械システム工学コース (別表1-7, 履修案内 pp. 69, 70)
⇒研究科規則第6条第2項の規定による, **他コースおよび他研究科の授業科目より合わせて10単位を上限に専門科目に充当できる.**
- 参照⇒**オリエンテーション資料⇒他コース等履修願について**

12/16

先行履修科目の単位認定について

- 研究科規則第7条〔履修案内 p. 52〕

研究科が必要と認めたときは、大学院学則第15条の規定に基づき、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 履修細則第3条2〔履修案内 p. 55〕

研究科規則第7条の規定により認定された単位については、10単位を限度として前条第4項に定める修了の要件となる単位に含めることができる。ただし、他研究科の大学院先行履修科目として授業科目を修得した単位については、別表 I に定めるものとする。

- 参照⇒オリエンテーション資料⇒大学院先行履修科目の単位認定について

13/16

教員免許状(専修)の取得について

- 修士課程においては、専修免許状取得についての所要の単位を修得することができる〔履修案内 p. 3〕。

- あわせて、履修案内 pp. 101～106 を参照のこと。

- 「科目等履修生」制度〔履修案内 p. 3〕

大学院の学生が、教員免許状取得(一種)に必要な授業科目を履修しようとする場合は、「科目等履修生」として受講する。

この制度で受講する場合は、検定料、入学料及び授業料は必要ない。

「科目等履修生」を希望する学生は、「科目等履修生入学願書」を、前学期については2月末日まで、後学期については8月20日までに学生センター(理工学研究科教務担当)に提出しなければならない(「佐賀大学科目等履修生規程」参照(学生便覧掲載))。

教職チューター:教職希望の学生毎に割り当て

教職カリキュラム委員:関連コースの教務委員

14/16

研究指導計画 [履修案内 p. 33, 37]

指導教員は、以下の項目についての研究指導を行う。

- 研究課題のテーマの設定および研究計画の立案に対して適切な指導を行う。
- 修士論文作成に必要な専門知識や技術を修得するため、研究指導を行う。
- 研究室のゼミおよび中間発表、試問会などにおける研究発表を通して、プレゼンテーション技術を修得するための指導を行う。
- 学会、研究集会などへの参加機会を積極的に提供し、**最低1回の学会発表を努力目標として課す。**
- **1年生には全員、2月に開かれる中間発表会に修士論文の中間発表および聴講を行うことを課し、参加者は最低1回の質問を発表者に対して行うことを義務づける。**
- 1・2年生の研究活動によって修士論文作成を指導し、2年生の2月に論文を提出させる。
- 論文提出後開かれる修論試問会において、主指導教員と副審査教員により審査を行う。

15/16

論文審査の評価基準 [履修案内 p. 33, 37]

修士論文と試問会での発表に対して、以下に示す評価項目に基づき総合的に評価する。

- 修士論文の評価項目
 - 研究の意義や目的を理解して明確に記述されているか
 - 結果に至るまでの過程、方法および結果の評価について、合理的かつ明確に記述されているか
 - 論文の構成が適切で、読みやすく記述されているか
- 試問会発表の評価項目
 - 発表態度が適切であるか
 - 研究の目的を正しく理解しているか
 - 結果に至るまでの過程を理解していたか
 - 限られた時間内に内容を伝えることができたか
 - 結果を分かりやすく表示できたか
 - 質問に応答できたか

16/16